

調達管理番号・案件名

24a00994\_トンガ国より良い復興ビジョンを実現するための行政能力強化プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2025年3月3日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	6	P6:2. プロポーザルで特に具体的な提案を求める内容 P11:欄外6	提案を求める事項No.2の「各種インフラ事業」に関して、貴機構の「情報収集確認調査」(2023年10月)や「Tonga National Infrastructure Investment Plan 2021-2030」によれば対象となるインフラや建築物は多岐に亘っていますが、特に重視するインフラや建築物があればご教示ください。	重要施設(政府施設、公共施設等)、リスク削減に貢献するインフラをより重視していますが、高潮や火山性津波のリスクが高いエリアに位置すると想定されるインフラや建築物に対する助言も重要と考えています。
2	8	2. 本業務に係る実施方針及び留意事項(4)	本案件において、CP職員の派遣が想定されている課題別研修の実施予定時期を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●持続性と強靱性確保のための防災(島嶼国) 2025年度:2026年1月~2月 2026年度:実施時期未定</li> <li>●持続性と強靱性確保のための防災主流化と事前防災投資 2025年度:2025年9月下旬~10月上旬</li> </ul>
3	9	2. 本業務にかかる事項 (1)プロジェクトの活動に関する業務 ① 成果1に関わる活動	成果1-2の活動の基礎資料である「都市計画ガイドライン2007」についてご共有いただくことは可能でしょうか。	<p>追加の配布資料として共有します。 資料は、地球環境部防災グループにて配付します。配付を希望される方は、gegdm@jica.go.jp宛に、3月7日(金)までに以下のとおりメールをお送りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル:「配付依頼:24a00994_トンガ国より良い復興ビジョンを実現するための行政能力強化プロジェクト(追加資料)」</li> <li>・本文:以下の同意文を含めてください。 「標記資料を受領した場合、プロポーザル作成に必要な範囲を超えての使用、複製及び第三者への提供は行わず、プロポーザル提出辞退後もしくは失注後に速やかに廃棄することに同意します。」</li> </ul>
4	9	【2】特記仕様書(案)第4条 業務の内容2. 本業務にかかる事項(1)プロジェクトの活動に関する業務① 成果1に関わる活動	プロジェクト実施範囲:事業概要(2)にプロジェクトサイトはトンガ全土とありますが、一方で事業の枠組み(4)活動1-2にはトンガタプ島を対象とした土地利用ゾーニングの作成とガイドラインの更新とあります。これはC/Pに対してまずトンガタプ島で作業をしてからC/Pが他島にて事業展開を行うということでしょうか。	活動1-2はトンガタプ島を対象としています。C/Pによる他島への展開までは想定していません。他方、成果3については全島が対象に含まれます。
5	9	【2】特記仕様書(案)第4条 業務の内容2. 本業務にかかる事項(1)プロジェクトの活動に関する業務① 成果1に関わる活動	トンガには現在災害リスク(地震、津波、火山噴火、洪水、土砂災害)を網羅したハザードマップはありませんが、土地利用計画を作成するにあたって、火山噴火、地震性津波以外のリスクも入れ込むと理解でよろしいでしょうか。	火山噴火、地震性津波以外のリスクは想定していません。

6	11	2. 本業務にかかる事項 (1)プロジェクトの活動に関する業務 ① 成果3に関わる活動	成果3-2の活動の基礎資料である「復興・強靱化計画2022-2025」についてご共有いただくことは可能でしょうか。	追加の配布資料として共有します。 配布方法は上記3の回答内容の通りです。
7	12	2. 本業務にかかる事項 (3)その他 ⑦ ジェンダー主流化に資する活動	P12に「合意文書・事前評価表に記載されたジェンダー主流化の活動を実施する。モニタリングシート含む各種報告書等において、右の活動の進捗・成果を報告する。」とありますが、右の活動とは何を指しますでしょうか。	「合意文書・事前評価表に記載されたジェンダー主流化の活動」を指しますが、今回は2段階に分けての実施となるため、具体的な活動は、計画フェーズ(詳細計画策定フェーズ)で決めることとなります。
8	13	第5条 報告書等	本業務で提出する「業務進捗報告書」は、第1期の履行期限までに1回のみ提出という理解で間違いありませんでしょうか。	ご理解のとおりです。
9	15	2. 技術協力作成資料	「本業務を通じて作成する以下の資料」とありますが、「以下の資料」について、具体的な資料名をご提示いただけますでしょうか	以下を想定していますが、計画フェーズで追加・変更の可能性がります。 ・より良い復興(BBB)/災害リスク削減(DRR)のための土地利用ゾーニング ・更新版都市計画ガイドライン2007 ・NSPAO向け開発申請確認・承認手続きマニュアル
10	15	第5条 報告書等 2.技術協力作成資料	「本業務を通じて作成する以下の資料については、」と記載されていますが、明示されていないようにお見受けいたしました。作成する資料は何になりますでしょうか。	上記9の回答に同じ。
11	17	①P17 ②P17 ③P18 ④P18	以下の資料を共有いただけますでしょうか。 ①P17「HTHH火山噴火およびトンガ津波復旧・復興計画2022-2025(Recovery and Resilience Building Plan 2022-2025)」 ②P17「トンガのためのBBBビジョン(Build Back Better (BBB) Vision for Tonga)」(2023年6月内閣承認版) ③P18「ヌクアロファ都市構造マスタープラン(2012年)」 ④P18「都市計画ガイドライン(2007年)」	①、②、④について、追加の配布資料として共有します。 ③については、弊機構も現物を確認できておりません。なお、②については現時点で確認できているバージョンであり、内閣承認版が別途存在する可能性もございます。 追加資料の配布方法は上記3の回答内容の通りです。
12	17	別紙 案件概要表 2. 事業の背景と必要性 (1)当該国における防災セクター/大洋州地域の開発の現状・課題及び本プロジェクトの位置付け	P17に「国家空間計画院(以下、「NSPAO」という。)はJICAと協力してトンガにおけるBBBの概念を構築し、2023年6月に「トンガのためのBBBビジョン(Build Back Better (BBB) Vision for Tonga)」(以下、「BBBビジョン」という。)が内閣により正式承認された。」とありますが、BBBビジョンについて、ご共有いただくことは可能でしょうか。	追加の配布資料として共有します。なお、配布した資料は現時点で確認できているバージョンであり、内閣承認版が別途存在する可能性もございます。
13	28	2. 業務実施上の条件 (1)業務工程	2025年9月以降のJCC会議の開催時期については、コンサルタント側から提案するという理解でよろしいでしょうか？	RDに添付されているPlan of Operation (PO)にこちらが想定するJCCの開催時期は記載していますが、提案いただいても構いません。

以上